

2005 年 ISAF 年次総会 報告

< RACING RULES COMMITTEE 競技規則委員会 >

国際委員会
委員 柴沼克己

議 題

1. 前回国議（2004 年）の議事録について...特に意見なく承認
2. 2004 年会議から持越された案件（黒色旗規則、推進方法）について
色旗規則が厳しく・選手に公平でないという理由の改正案...却下（規則の目的を逸脱する）
推進方法に関する規則に「風速に応じた規則 42 の適用・解除に関する本文を入れる」という改正案...提案 146-05(承認)を参照
3. ケースとコールの提出に関する規則（ISAF 規則 31.3.1）について
現行 ISAF 規則では、ケースとコールに関する提案は、各国協会のみには認められていなかった(ケース等は、特にジャッジやアンパイアから多く提出されるが、現行では各国協会を通してのみ提出できる)が、これを ISAF 規則 1 に規定するもの(各国協会の他、執行委員会、委員会の委員長、会長、国際クラス協会等)にも認めようとする改正案...承認
4. セーリング競技規則の変更についての提出議題について(17 件)
競技規則本文 9 件...承認 4 件、却下 2 件、保留(要検討) 3 件
競技規則付則 8 件...承認 7 件、却下 1 件、
詳細は別紙(1)参照
5. ハーネスの素早い開放(Quick Release Harness)と現行競技規則について
競技規則 40 個人用浮力体；ハーネス
40.2 トラピース・ハーネスまたはハイキング・ハーネスには、使用中いつでも、艇から競技者を素早く解放することができる装置がついていなければならない。
注記：この規則は、2006 年 1 月 1 日より施行される
この規則施行を 2009 年に延期とすることが決定された。(詳細は別紙参照)
6. ケースブック(判例集)に関する提出議題について(6 件)
承認 3 件、却下 2 件、保留(要検討) 1 件。(概略は別紙(1)参照)
7. マッチレースのコールブックに関する提出議題について(3 件)
全件承認。(概略は別紙(1)参照)
8. チームレースのコールブックに関する提出議題について(2 件)
全件承認。(概略は別紙(1)参照)
9. セーリング競技規則・ケース・コールに関する ISAF 規則について
現行セーリング競技規則等に関する ISAF 規則は、これまで何度も改訂されており、Q & A (競技規則に関する質問/回答)サービス - Question and

Answer(Q&A) Service とマッチ・チームレース規則作業部会(WP)を含めた同規則の整理に関する提案...承認。

10. 規則 87 (各国協会規程への変更) について

当委員会委員長は、各国の協会規程を集め分析するための特別な臨時の作業部会(WP)メンバーを指名する...承認。

11. 試験的付則Q(アンパイア制のフリートレース規則)について

当委員会委員長は、アンパイア制を用いたフリートレースの公認競技委員(レースオフィシャル)から試験的付則Qの一層の発展のために情報を集めるための特別な臨時の作業部会(WP)メンバーを指名する...承認。

12. (公認競技役員の)行動規範について

特に論議されなかった(資料配布なし)。

13. ISAFのQ&A(競技規則に関する質問/回答)サービスについて

議題9の中で少し言及があった(資料配布なし)。

14. 大会/競技会におけるセーリング競技規則の使用について

当委員会は、ISAFと他の主要な大会で承認料等の支払いを要求されている大会についてのみ使用料の徴収について支持する

15. 他の委員会への競技規則委員会からの派遣委員について。

Dick Rose --- 装備委員会・装備管理小委員会、

Ana Sanchez --- クラス規則小委員会

Bryan Willis --- 公認競技委員担当委員会

以上、各派遣委員から当委員会に関連する事項について、口頭で各委員会の報告があった。

16. ISAF戦略計画について

ISAFがこれから展開しようとしている戦略計画について、スライドを用いて担当副会長から説明があった。(ビジョン、取り組み方、9つの目標とタイムスケジュール)

当委員会に関係する分野について、2006年ミッドイヤー会議にて提言を行う。

17. 年次報告について

2005年11月評議員会へこの1年の当委員会活動を報告する

18. その他の事項について

ISAF創立100周年記念行事について(2007年9月1~2日)

このイベントのためのロゴを作る

「Sail the World」の名のもとに各国協会においても実施する。

「Sail the World Festival」をヨーロッパの都市(未定)にて開催する

北京オリンピックのレース形式(別紙参照)

メディアを強く意識したレース形式が導入される。その中でも特に最終レース(上位10艇によるフリートレースを海上審判にて行う)にてメダル(優勝・順位)が決められる方式とした。

(その他)

- (1) ルール委員長の要請により、I S A F ・ I J セミナーの開催申請書(2007年1月又は2月・日本国内/開催都市未定)をI S A Fの国際審判員小委員会並びに公認競技役員担当委員会の両委員長に手交した。
- (2) 地域大会委員会(7日)、イベント委員会(9日)の会議を傍聴した。